

平成17年度 夏期研修会全体研修（研修）

「学校組織マネジメントの必要性と学校事務職員の職務について」質疑応答

Q1. 第4ユニットでおっしゃっていた、地域の特性や保護者のニーズに応えた特色ある学校作りについて。

私もいろいろな研修会などに参加し、理想的な学校経営として、「開かれた学校」にも通じると思いますが、教育目標や教育予算の編成等まで保護者や地域の人達の願いや意見、そして地域の特性を取り入れていけたらいいなと以前から思っていました。そこで、保護者・地域のニーズを汲み取り、取り入れるためには、どのような具体的方法があると思われますか？

A1. ニーズの把握の方法ですが、二つあると思います。

まずは、情報の発信です。HPやおたよりで学校の情報を流すときにご意見、ご要望をきく、参観日でのアンケートや項目を絞った外部評価（アンケート）での把握がひとつです。

もうひとつは、渉外という係りを通じて、インフォーマルなお付き合いが保護者の方とできると思います。それを活用して、お話を聞くことです。

Q2. 最初の頃のユニットで、

「事務職員は地域のことを分かってますか？」

という問いかけをなさっていましたが、学校事務職員は、地域の何を、どの程度、知っている必要があるとお考えですか？

A2. どこまで地域を知るかですが、基本的には、市町村役場の把握している情報は最低限だと思います。地域の成り立ちを聞くとこの学校はそのなかでどのような役割をはたしてきたのか、今後はどう機能していけばいいのかわかります。あと家庭連絡表など作成してもらっていると思いますが、それにも目をとおすことが事務職員として必要です。

わたしは、広報活動については、保健便りや事務便りや学校便りが別々にするのは基本的に反対です。学校という組織がまとまって各部署の情報を提供すべきだと思います。